

## 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理又は交換をさせていただきます。  
(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、製品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただき、お買い上げの販売店にお申しつけください。ただし消耗品・付属品は除く。  
(ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、カスタマーセンターにご連絡ください。
  - ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店またはカスタマーセンターにご連絡ください。
  - ご贈答品等で本保証書に記入の販売店に無料修理をお受けにできない場合には、カスタマーセンターへご連絡ください。
  - 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。  
(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。  
(ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。  
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷。  
(ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。  
(ホ) 一般家庭以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障及び損傷。  
(ヘ) 本書の添付がない場合。  
(ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。  
(チ) 持込修理の対象製品を直接カスタマーセンターへ送付した場合の送料等はお客様のご負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様のご負担となります。
- 本書は日本国内での使用においてのみ有効です。
  - 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

### ●消耗品・付属品は保証の対象外です。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。  
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、保証書を発行しているもの(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはカスタマーセンターにお問い合わせください。

## récolte® レコルト 温度調節ドリップケトル 保証書

持込修理

本書はお買い上げの日から下記期間中、故障が発生した場合には本書上記記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本票上記に記載しております。

保証期間	お買い上げ日より	本体1年間	お買い上げ日	年	月	日
お客様			販売店			
ご住所 〒	—		住所・店名			
お名前		様				
電話 ( )	—		電話 ( )			—

ウィナーズ株式会社

製品についてのお問い合わせは下記まで

カスタマーセンター TEL.03-6662-7100 受付時間 10時~12時/13時~16時(土日祝日を除く)  
住所 〒125-0062 東京都葛飾区青戸4-18-12 ソークンビル4F

**This product is for use inside Japan only. Do not use outside Japan.**

This warranty is valid only in Japan.

BA-RTK1-03-2412

récolte®

## Temperature Control Kettle

レコルト

温度調節ドリップケトル

RTK-1



## 取扱説明書

この度はレコルト 温度調節ドリップケトルをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に必ず、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

## INDEX

安全上のご注意	1-4
各部(パーツ)の名称	5-6
はじめてお使いになる前に	6
100°Cにお湯を沸かす「沸騰モード」	7-8
設定した温度でお湯を沸かす「温度設定モード」	9-10
使い終わったら	10
本製品の便利な機能	11
コーヒーをおいしくいれるための温度	12
お手入れについて	13
故障かな?と思ったら/仕様	14
無料修理規定/保証書	裏表紙

This product is for use inside Japan only.  
Do not use outside Japan.

製品についてのお問い合わせは下記まで


カスタマーセンター


**TEL.03-6662-7100**

【受付時間】  
10時~12時/13時~16時(土日祝日を除く)  
【住所】  
〒125-0062  
東京都葛飾区青戸4-18-12 ソークンビル4F


## 安全上のご注意


お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りください。  
内容表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。


 **警告** この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。


 この表示は、禁止(してはいけないこと)を示します。  
具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

 この表示は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

 この表示は、注意を示します。  
具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

### 警告

 **改造はしない。また、分解したり修理をしない。**  
火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店または、カスタマーセンターにご相談ください。

 **電源プラグは、交流100Vで「15A125V」の壁面コンセントに直接差し込む。(日本国内専用)**  
故障・発熱・火災・感電の原因になります。

**◆定格15A以上のコンセントを単独で使用する。タコ足配線はしない。**  
他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常過熱して、発火することがあります。

**◆異常・故障時には直ちに使用を中止し電源プラグを抜く。**  
発煙・発火・感電・けがの原因になります。  
(異常・故障例)

- ・電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
- ・電源を入れているのに動かない
- ・電源コードに傷がついたり、通電したりしなかったりする
- ・本体が変形したり、異常に熱くなったりする
- ・こげ臭い・発煙している

すぐにカスタマーセンターに点検・修理を依頼してください。

**◆電源プラグをなめない。**  
乳幼児が電源プラグを誤ってなめないように注意すること。感電やけがの原因になります。

**◆電源プラグはコンセントの奥までしっかりと差し込む。**  
感電・ショート・発煙・発火のおそれがあります。

**◆動作していない事を確認してから電源プラグを抜き差しする。**  
感電・ショート・火災・発火の原因になります。


**◆変形・破損などの異常や故障と思われる状態では使用を中止する。**  
火災・感電、けがの原因となります。


 **◆電源プラグを抜く時は、電源コードを持たず必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。**

感電・ショート・発火することがあります。

**◆使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。**  
けが・やけど、絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。

 **◆濡れた手で電源プラグの抜き差しをしたり、操作したりしない。**  
感電・けがをすることがあります。

 **◆ケトル本体、電源プレートを水につけたり、水をかけたり、洗い流したりしない。また湿気が多い場所、水が掛かる場所、水場で使用しない。**  
感電・ショート・故障のおそれがあります。

 **◆電源コードは破損したまま使用しない。電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、束ねたり、高温部に近づけたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない。**  
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

**◆電源プラグにピン等の金属片やゴミを付着させない。**  
感電・ショート・火災・発火の原因になります。

**◆電源プラグにほこりが付着している場合は、よく拭き取る。**  
火災の原因になります。

**◆電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。**  
断線・故障・感電・ショート・火災・発火の原因になります。

**◆ねじれが戻らなくなった電源コードは使わない。**  
感電・ショートの原因になります。

**◆子供など、取り扱いに不慣れな人だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使用しない。**  
やけど・感電・けがをすることがあります。

**◆長期間の使用や誤使用により、電源コードが断線する恐れがあるため、次の状態が確認されたときは使わない。**  
火災・感電・やけど・ショートのおそれがあります。

- ・電源コードがねじれて戻らなくなった
- ・電源コードの根元部分が変形・傷んでいる
- ・コンセントの差し込みがゆるい

**◆この取扱説明書に記載のない目的・方法で使用しない。**  
けが・事故の原因になります。

**◆ケトル本体の底部や電源プレートを水につけたり、水に濡らしたりしない。**  
感電・ショートの原因になります。



禁止

- ◆MAX表示(満水)以上の水を入れない。  
やけど・感電・けがの原因になります。
- ◆湯沸かし中は、フタを開けたまま使用しない。フタを確実に閉める。  
やけどの原因になります。
- ◆ケトルをゆすったり、フタを持って移動しない。  
やけどの原因になります。
- ◆注ぎ口をふきんなどでふさがない。  
やけどの原因になります。
- ◆直火(ガス台など)や電気ヒーター、電磁調理プレートなどの上にのせない。  
火災の原因になります。



接触禁止

- ◆蒸気に触ったり、顔などを近づけない。  
やけどの原因になります。
- ◆使用中や使用直後は高温部に触れない。  
やけどの原因になります。



必ず守る

- ◆以下の場合の使用を止め、当社の点検・修理を必ず受ける。  
・製品に不具合、損傷がある ・製品を床に落とした  
修理は巻末のカスタマーセンターにご相談ください。

### ⚠ 注意



電源プラグを抜く

- ◆本製品のお手入れは、必ず電源プラグを抜いてから行う。  
感電・やけどの原因になります。
- ◆動作していないことを確認してから電源プラグを抜く。  
感電・ショート・火災・発火の原因になります。
- ◆電源プレートを移動するときは、ケトル本体を外し電源プラグを抜いて電源プレートを持って移動する。  
転倒・破損・故障の原因になります。
- ◆湯沸かし後、湯を注いだり持ち運ぶ際は取っ手を持つ。  
やけどの原因になります。

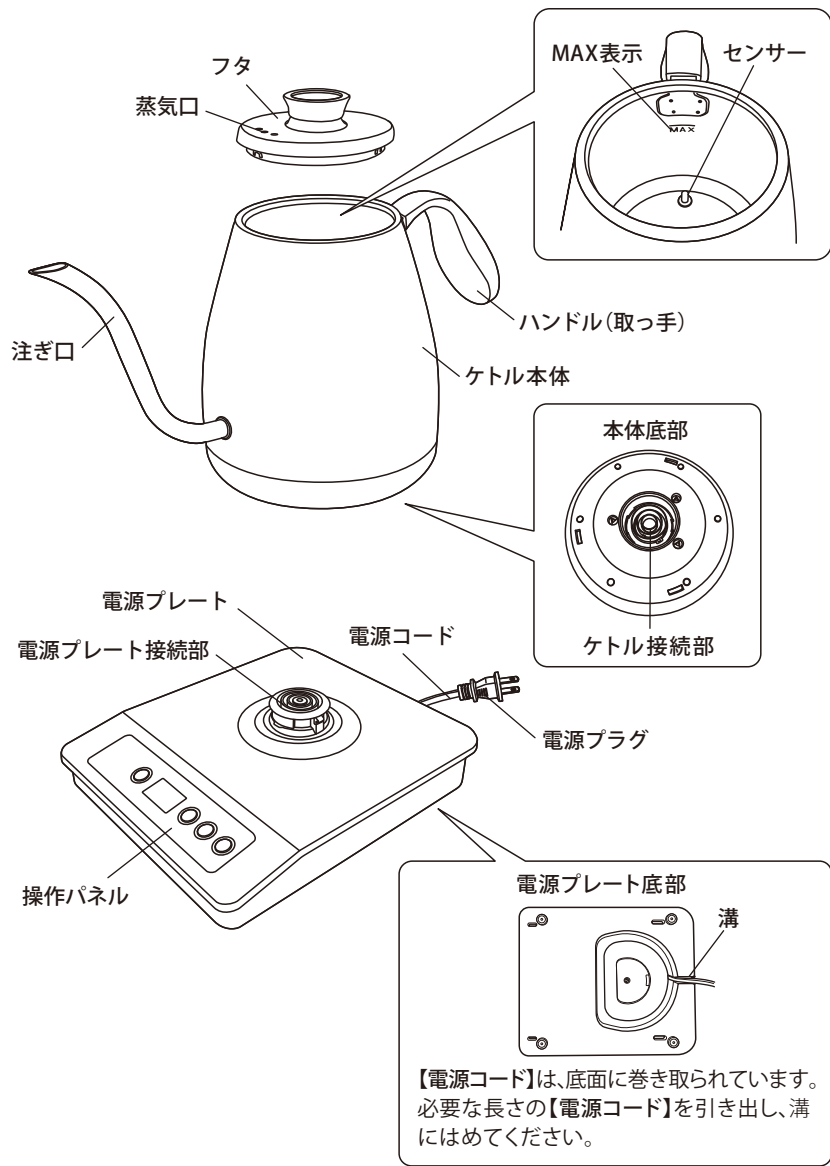


禁止

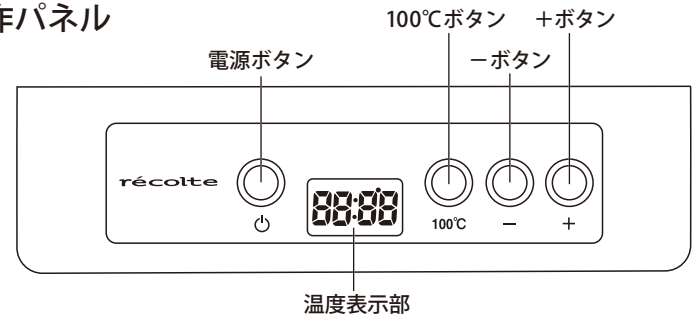
- ◆不安定な場所やカーペット・座布団・敷物等の転倒の可能性がある場所で使用しない。  
やけど・けが・転倒・破損・故障の原因になります。
- ◆物を載せない、落下しやすい場所に設置しない。  
発熱・発火・感電・けがの原因になります。
- ◆使用中にお子様やペットを側に近づけない。  
やけど・けが・転倒・故障の原因になります。

- ◆水以外のものは沸かさない。  
故障の原因になります。
- ◆室内で使用する。直射日光・雨が当たる場所に置かない、使用しない。  
漏電・故障の原因になります。
- ◆屋外で使用しない。  
故障の原因になります。
- ◆ストーブやガスコンロなど熱源のそばや、引火性ガスのある場所で使用しない。  
発火・火災・爆発の原因、プラスチック部分が熱で破損するおそれがあります。
- ◆IHクッキングヒーターの上では使わない。  
故障の原因になります。
- ◆倒したり落としたり、ぶつけるなど本製品に強い衝撃を与えない。  
故障の原因になります。
- ◆湯沸かし中は、移動させない。  
やけどの原因になります。
- ◆ケトル本体に水が入っていないときは、通電させない。(空焚きはしない)  
故障の原因になります。
- ◆ケトルに水を入れる際は、必ず電源プレートからケトルを外す。  
ショート・感電の原因になります。
- ◆本製品専用の電源プレート以外は使用しない。また、電源プレートは他の機器に転用しない。  
火災・故障の原因になります。
- ◆電源プレートの中央の接続部(金属部)に異物を差し込んだり、ゴミを付着させない。  
発火・ショート・感電の原因になります。
- ◆ケトルを丸洗いしたり、電源プレートに水分を付着させない。  
ショート・感電の原因となります。
- ◆使用中や使用直後は金属部分に触れない。  
やけどのおそれがあります。
- ◆湯沸かし中はそばを離れない。  
火災の原因となります。
- ◆湯沸かし中に電源プレートからケトル本体を外さない。  
故障の原因になります。
- ◆電子レンジや食器乾燥機、食器洗い乾燥機に入れない。  
変形、故障の原因になります
- ◆金属製・ナイロン製のたわし・磨き粉・ベンジン・シンナー・漂白剤などを使わない。  
本製品に傷がつくおそれがあります。
- ◆本製品は家庭用なので、業務用として使用しない。  
故障の原因になります。
- ◆お湯を沸かす以外の用途では使用しない。  
故障の原因になります。

## 各部(パーツ)の名称



## ●操作パネル



電源ボタン	電源のオン/オフを切り替えます。電源がオンのときは、電源ボタンが点灯します。電源ボタンを押すごとに「ピッ」と鳴ります。
温度表示部	電源をオンにすると「- - -」が表示されます。お湯を沸かしている間は、現在の温度が表示されます。「温度設定モード」に切り替えると、前回の設定温度を点滅表示後、現在の温度が表示されます。湯沸かし温度設定中は、設定中の温度が表示されます。
100°Cボタン (沸騰モード)	このボタンを押すと「ピー」と鳴り「沸騰モード」で、湯沸かしを開始します。湯沸かし中は、100°Cボタンが点滅し、自動保温機能が働いているときは点灯します。
+ボタン (温度設定モード)	このボタンを押すと「ピッ」と鳴り「温度設定モード」に切り替わります。ボタンを押すごとに、「ピッ」と鳴り1°Cずつ温度が上がります。長押しすると5°Cずつ温度が上がります。操作してから約3秒経つと、「ピー」と鳴り設定した温度で湯沸かしを開始します。湯沸かし中は、+ボタンと-ボタンが点滅し、自動保温機能が働いているときは点灯します。
-ボタン (温度設定モード)	このボタンを押すと「ピッ」と鳴り「温度設定モード」に切り替わります。ボタンを押すごとに、「ピッ」と鳴り1°Cずつ温度下がります。長押しすると5°Cずつ温度下がります。操作してから約3秒経つと、「ピー」と鳴り設定した温度で湯沸かしを開始します。湯沸かし中は、+ボタンと-ボタンが点滅し、自動保温機能が働いているときは点灯します。

## はじめてお使いになる前に

【ケトル本体】の内部を水ですすいでお使いください。

## 100℃にお湯を沸かす「沸騰モード」

### 1 【ケトル本体】の【フタ】を開け、水を入れて【フタ】を閉める

【フタ】の【蒸気口】が【注ぎ口】側になるように【フタ】を開めてください。

#### ⚠ 注意

- ケトル内部壁面に表示されている【MAX表示】より上に水を入れない。
- 【MAX表示】ギリギリ(満水)まで水を入れると、沸騰時に蒸気口付近に水滴が付着することがあります。

#### ⚠ 注意

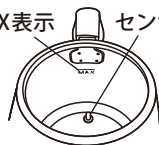
- 最低 250ml 以上の水を入れる。  
(【センサー】が十分に水温を感知する量)
- 【ケトル本体】を【電源プレート】にのせたまま水を入れない。

#### ⚠ 注意

- ◆【フタ】の【蒸気口】を【ハンドル】側にして閉めない。  
【蒸気口】からは高温の蒸気が出るため、【ハンドル】を持つときにやけどのおそれがあります。
- ◆水道の蛇口からの給水はケトル本体が濡れるおそれがあります。



MAX表示 センサー



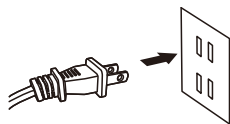
蒸気口



注ぎ口

### 2 【電源プラグ】を電源コンセントに差し込む

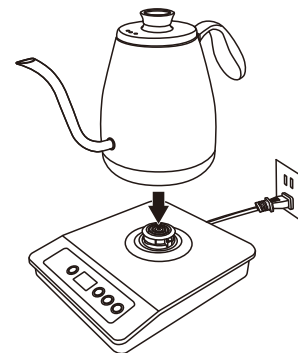
電源ボタンが2回点滅します。



### 3 【ケトル本体】を【電源プレート】にセットする

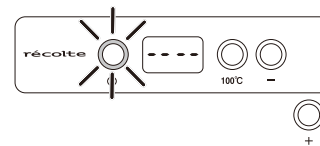
#### ⚠ 注意

- 【ケトル本体】と【電源プレート】が濡れていないことを確認してからセットする。



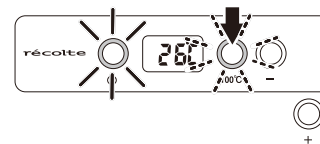
### 4 電源ボタンを押して、電源を入れる

「ピッ」と鳴り、電源ボタンが点灯し、「温度表示部」に「---」が表示されます。



### 5 100℃ボタンを押す

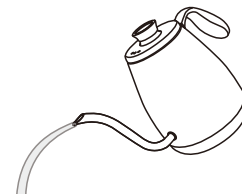
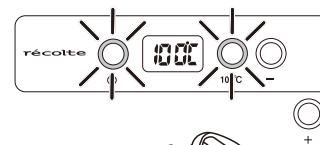
「ピー」と鳴り「沸騰モード」に切り替わり、湯沸かしを開始します。  
湯沸かし中は、100℃ボタンが点滅し、「温度表示部」には現在の水温が表示されます。



### 6 100℃になったら、お湯を注ぐ

100℃になると「ピー、ピー」と鳴ります。  
自動保温機能が働き、20分間保温します。  
自動保温機能動作中は、100℃ボタンが点灯します。

【ケトル本体】を【電源プレート】から離すと、「ピッ」と鳴り、【電源プレート】の自動保温機能が終了し、電源がオフになります。



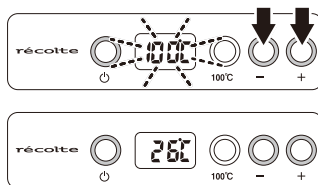
## 設定した温度でお湯を沸かす「温度設定モード」

### 1 100℃にお湯を沸かす「沸騰モード」(p.7～p.8)の手順

#### 1～4までを行う

### 2 +ボタンまたは-ボタンを押して、「温度設定モード」に切り替える

+ボタンまたは-ボタンを押すと「ピッ」と鳴り、+/-ボタンが点灯し、「温度表示部」に「100℃」が点滅表示されます。点滅後、現在の【ケトル本体】内の水温が表示されます。



### 3 +ボタンまたは-ボタンを押して、好みの温度に設定する

+ボタンまたは-ボタンを押すと「温度表示部」が点滅表示に変わり、温度を設定できます。ボタンを押すごとに「ピッ」と鳴り、1℃ずつ調整できます。ボタンを長押しすると5℃ずつ温度が上がります。



#### はじめてお使いになるとき

はじめてお使いになるときは、「100℃」からの設定になりますので、-ボタンで温度を下げて調整してください。温度を下げ過ぎたときは、+ボタンで温度を上げて調整してください。

#### ⚠ 注意

ケトル内の水温より低い温度は設定できません。

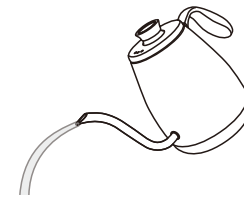
### 4 設定した温度で3秒待つと湯沸かしを開始する

+ボタンまたは-ボタンを操作してから約3秒経つと、「ピー」と鳴り「温度表示部」の温度で湯沸かしを開始します。湯沸かし中は、+/-ボタンが点滅し、「温度表示部」には現在の水温が表示されます。



### 5 設定した温度になったら、お湯を注ぐ

設定した温度になると「ピー、ピー」と鳴ります。自動保温機能が働き、20分間設定した温度で保温します。自動保温機能動作中は、+/-ボタンが点灯します。【ケトル本体】を【電源プレート】から離すと、「ピッ」と鳴り、【電源プレート】の自動保温機能が終了し、電源がオフになります。



次回温度を設定するとき、+ボタンまたは-ボタンを押すと前回設定した温度が「温度表示部」に表示され、その温度から設定をすることができます。

## 使い終わったら

ご使用後はお湯を残さず、ケトルの内部を空にしてください。ご使用後は電源コンセントから電源プラグを抜いてください。

## 本製品の便利な機能

### 自動保温機能

湯沸かし後、自動で20分間保温します。

20分間の保温が終わると自動的に電源がオフになります。

【電源プレート】から【ケトル本体】を外すと、自動保温は終了し、電源がオフになります。

「沸騰モード」時：沸騰後の保温は約96℃で自動的に20分間の保温を行います。

「温度設定モード」時：加熱後、設定温度で自動的に20分間の保温を行います。

設定温度が96℃以上の場合、保温温度は約96℃になります。

### メモリー機能

「温度設定モード」に切り替えたとき、前回設定した温度から設定を開始することができます。

同じ温度でお湯を沸かしたい場合に便利です。

### 安全のための機能

#### 異常過熱防止機能（空焚き防止）

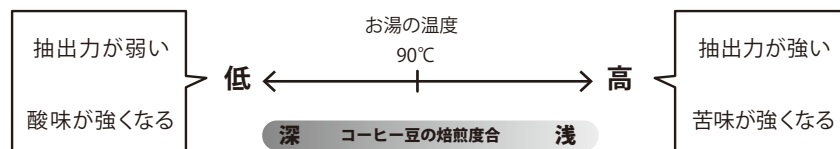
本製品には、異常過熱防止機能（空焚き防止）が搭載されています。ケトルに水が入っていない、または極端に水の量が少ない状態でお湯を沸かした場合、異常過熱防止機能（空焚き防止）が働き加熱が止まり「温度表示部」に「E3」と表示され、「ピー、ピー、ピー」と鳴り、30分後に自動的に電源がオフになります。

#### ⚠️ 注意

- ◆ ケトル底面から微量の煙が出ることがありますが、異常ではありません。  
（異常温度を検知する機構の保護処理によるものです）
- 異常過熱防止機能（空焚き防止）が働いた後は、しばらくの間、お湯を沸かせません。  
【ケトル本体】が十分に冷えるのを待ってから、お湯を沸かしてください。

## コーヒーをおいしく入れるための温度

コーヒーをハンドドリップする際にお湯の温度は必要な要素の一つです。豆の種類や焙煎度合に合わせて、お好みのコーヒーをお楽しみください。



図はコーヒーの抽出される味の変化の目安です。一般的にハンドドリップの湯温は約90℃が目安になりますが、基本的に湯温が高いと抽出力は強く、低いと弱くなります。またコーヒー豆の焙煎度合によってお湯の浸透のしやすさも変わってくるので豆に合わせてお好みで湯温を調整してください。

## お手入れについて

お手入れは必ず、【電源プラグ】を電源コンセントから抜き、【ケトル本体】が冷めてから行ってください。

### 【ケトル本体】外側、【フタ】、【電源プレート】のお手入れ

乾いた布で拭いてください。汚れがひどいときは、台所用中性洗剤を薄めた水やぬるま湯にやわらかい布を浸した後に固く絞って拭き、さらに水に浸したやわらかい布を固く絞り、洗剤分を十分に拭き取ってください。

#### ⚠ 注意

- 【ケトル本体】、【電源プレート】に水をつけたり、直接水をかけてお手入れをすることはお止めください。

### 【ケトル本体】内部

通常は、水でよくすすぎ、乾いた柔らかい布で水気を拭き取ってください。汚れがひどいときは、クエン酸を使用して汚れを落としてください。

#### ●クエン酸で汚れを落とす

- 1 水を【ケトル本体】の【MAX表示】まで入れ、クエン酸約30gを入れて溶かす。
- 2 【ケトル本体】に【フタ】を閉めて、【電源プレート】にセットする。
- 3 100°Cボタンを押して【ケトル本体】の水を沸騰させる。
- 4 電源ボタンを押して電源をオフにし、30分～1時間放置する。
- 5 【ケトル本体】のお湯を捨て、水でよくすすぐ。

※汚れが落ちないときは、手順①～④をくり返してください。

※クエン酸のにおいが気になるときは、水でよくすすいだ後に、【ケトル本体】に水を入れて沸騰させ、お湯を捨ててください。

#### ⚠ 注意

- ◆研磨剤入り洗剤・磨き粉・たわし・ナイロンや金属製のたわし、シンナー・ベンジンは使わない。  
表面を傷つける原因になります。
- 食器洗い乾燥機・食器乾燥機は使用しないでください。

## 故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったときは、修理の依頼をされる前に、下記内容をご確認ください。問題が解決しない場合は、カスタマーセンターにご相談ください。

こんなとき	原因	対処法
電源ボタンを押しても、電源がオンにならない。	【電源プラグ】が電源コンセントに差し込まれていない。	【電源プラグ】を正しい電圧の電源コンセントに確実に差し込む。
湯沸かしできない。	【ケトル本体】が【電源プレート】に正しくセットされていない。	【ケトル本体】を【電源プレート】に正しくセットする。
	設定温度が現在の水温より低い。	設定温度を水温より高くするか、「沸騰モード」をご使用ください。
	異常過熱防止機能(空焚き防止)が動作した。	【ケトル本体】が十分に冷えるのを待って、正しい水量でご使用ください。
お湯がふきだす。	【MAX表示】より上に水が入っている。	【MAX表示】よりも水の量を減らしてご使用ください。
【ハンドル】がぐらつく。	【ハンドル】の接合部分に異常が出ている。	カスタマーセンターまでご相談ください。
確認後、なお異常があるとき。	カスタマーセンターまでご相談ください。 無料修理規定と保証書をご参照ください。(裏表紙)	

## 仕様

品名	温度調節ドリップケトル
品番	RTK-1
商品サイズ	約29.5(W)×21.5(D)×22(H)cm
	ケトル本体/約29.5(W)×13.5(D)×18(H)cm
	電源プレート/約18(W)×21.5(D)×5.5(H)cm
重量	約1.06kg
	ケトル本体/約0.56kg
	電源プレート/約0.50kg
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	1,000W
定格容量	0.8L
材質	電源プレート/ABS、フタのつまみ/PC
	ハンドル/PP、胴部/ステンレス
コードの長さ	約0.7m

※仕様、デザインは商品改良のため予告なく変更することがあります。